

## 防災対策事業について

## 1 防災対策事業の進捗と今後の予定について

	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
計画全体の進捗 (計画期間：R4～R13)	短期目標に掲げた事業の実施 (計画前半期)				
	計画後半期の事業検討				
防災全般	1-(a) 防災に対する理解の促進	防災アクションブック ワークショップ	建物お手入れの手引き ワークショップ 意見交換会	耐震改修マニュアル	
	1-(b) 災害に強いミニシティづくり				
	1-(c) 効果的な防災訓練の実施	中社区・宝光社区 防災訓練	中社区・宝光社区 防災訓練		
火災	2-(a) 出火予防				
	2-(b) 早期発見・早期通報			外部通報システム基本設計 戸隠地区に最適な仕様の調査・検討	外部通報システム実施設計 システム選定(設計) 実装
	2-(c) 初期消火・延焼防止	40mm消火ホース格納箱設計	40mm消火ホース配備 保存地区内40基 軽可搬ポンプ購入 台車付2台	40mm消火ホース配備 保存地区周辺15基 軽可搬ポンプ格納小屋設置 2基 高粘度液体装置購入 同上格納(保温)小屋設置 手引式1台	高粘度液体装置購入 同上格納(保温)小屋設置 手引式1台
	2-(d) 施設での避難・誘導		宿泊施設の防災を考える会 (火災を想定した行動・通報訓練)		
	2-(e) 消防活動		耐震性貯水槽実施設計 消防水利不足エリアに新設	既存貯水槽改修実施設計 積雪時の吸水を容易にするサクションパイプの追加等	耐震性貯水槽新設 既存貯水槽改修
地震	3-(a) 建物の耐震対策	伝統的建造物の修理事業にあわせた耐震補強の促進			
	3-(b) 工作物の耐震対策	R4実績：2件	R5実績：2件	R6予定：2件	
雪害	4-(a) 建物の補強・改修				
	4-(b) 屋根積雪の抑制				
	4-(c) 排雪処理				
その他	5-(a) 土砂災害対策				
	5-(b) 倒木・落枝対策				
建築基準法関係	歴史的建築物保存活用調査				
防災アドバイザー実績	構造設計への助言(1回) ワークショップでの助言(2回)	防災訓練等での助言(2回)			

## 2 防災対策事業について

### (1) 40 mm消火ホースの配備

- ・ SUS 製格納箱を新規製作 (40 基)  
65 mmホース(20m)×3本、40 mmホース(20m)×4本(ホースバッグ収納)、65Aノズル、40Aノズル、65A→40A変換用の媒介金具を格納

※ 保存地区内 40 基の配備(更新)工事は7月に完了。

※ R6 年度は保存地区内でホース延長用に5基、  
保存地区隣接地で10基を追加配備(更新)予定。



### (2) 軽可搬ポンプ (台車付) の配備

- ・ 中社区、宝光社区に1台ずつ配備
- ・ 台車を収めるための小屋をR6年度に設置予定



### (3) 耐震性貯水槽設置工事実施設計

- ・ 消防水利が不足する箇所について、戸隠中社・宝光社区まちづくり協議会防災委員会と協議  
→ 設置場所は現状で消防水利が無い、戸隠神社宝光社社殿の北側斜面上が第一候補  
→ 戸隠神社との協議により、戸隠村時代に宝光社境内に整備された地下式貯水槽を確認  
(工事記録、財産台帳がないため詳細不明。  
容量は40t以上と想定)



### (4) 既存貯水槽改修工事実施設計

- ・ 既存貯水槽を改修してサクシオンパイプを設置するための設計

### (5) 外部通報システム構築に向けた基本設計

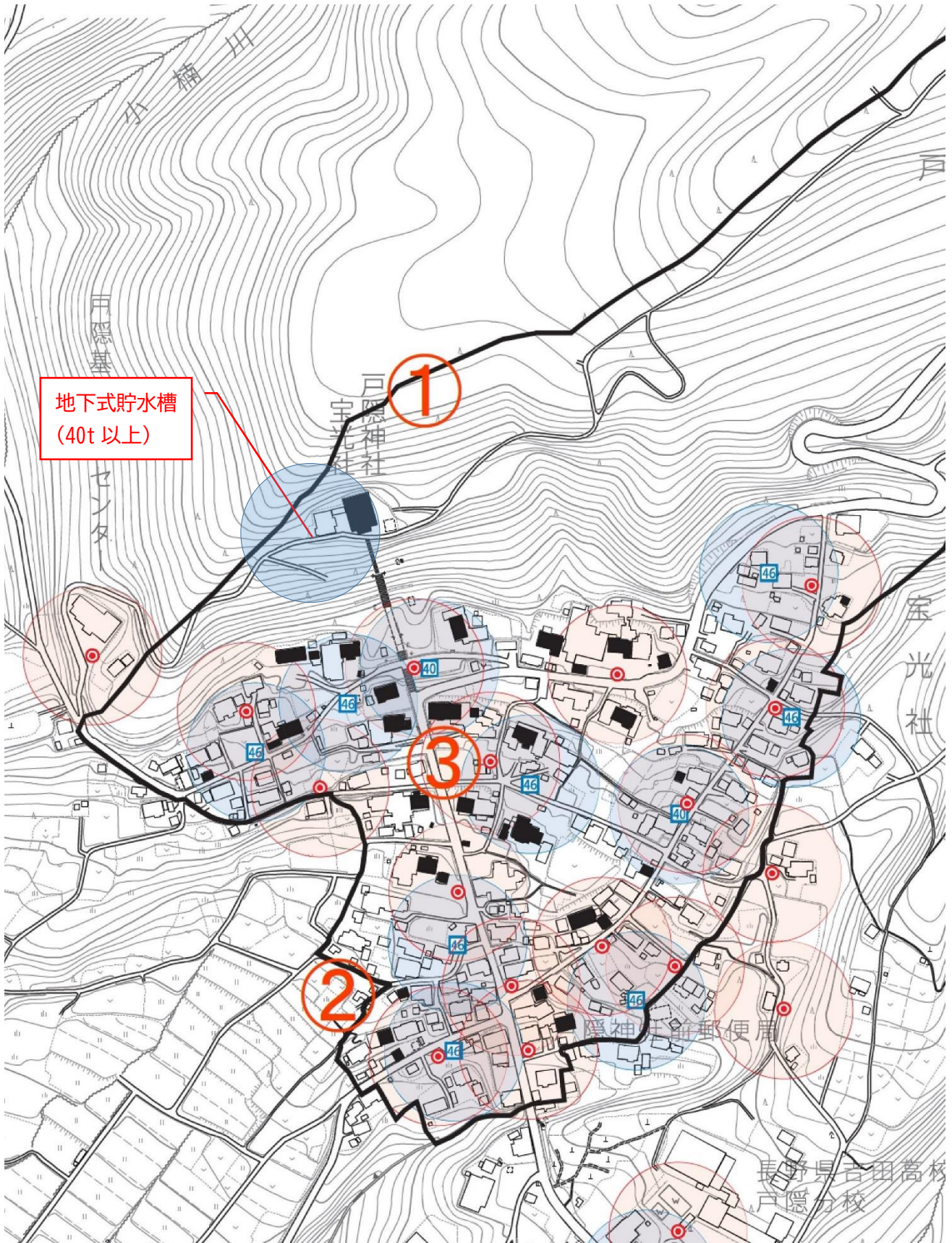
- ・ 早期に火災覚知、通報ができるシステムについて、R6年度に基本設計を実施
- ・ R7年度以降、実装に向けた事業に着手予定

### (6) 防災マニュアル類の作成

- R4年度：「防災アクションブック」の作成
- R5年度：「建物のお手入れ(維持管理)の手引き」の作成
- R6年度：「耐震補強の手引き」の作成

### (8) その他 (ソフト事業など)

- ・ R5/11/8 中社区防災訓練 40 mmホースを使った消火栓からの放水訓練 など
- ・ R5/11/19 宝光社区防災訓練 飲食店での通報訓練、初期消火訓練 など  
→ どちらも訓練実施後、防災についての意見交換会(ミニワークショップ)を実施
- ・ R6/1/17 保存地区内の宿坊にて、火災を想定した発災型の行動訓練、通報訓練を試行
- ・ R6/9/8 中社区防災訓練 軽可搬ポンプを使った貯水槽からの放水訓練



消火栓・防火水槽分布図（宝光社地区）

※ サークルは消火設備から半径 56m

課 題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の防火水槽のほとんどは耐震化されておらず、積雪時に容易に吸水できるサクシオンパイプも整備されていない。</li> <li>・既存の消火栓の配置では、消火ホース（20m）を5本以上接続しなければ消火活動を行えない箇所があり、水圧の低下で十分な消火活動ができない可能性がある。</li> <li>・地区内で複数の火災が発生し、多数の消火栓を同時開放した場合、上水道を利用した既存の消火栓では水圧の低下で十分な消火活動ができない可能性がある。</li> </ul>	

対 策	
2-(e)-① 防火水槽の改修、更新	耐震化されていない既存の防火水槽について、劣化状況をみながら耐震性貯水槽への更新を順次進める。 耐震化にあわせ、積雪時の吸水や管理が容易になるサクシオンパイプを設置する。
2-(e)-② 消火栓の改修、新設	消火栓からの実効的な消防活動可能範囲を考慮し、消火栓の改修や新設を検討する。 消火栓の改修や新設の際は、易操作性消火栓を併設する。
2-(e)-③ 消防水利不足箇所への防火水槽等の整備	水圧不足等により消防水利が不足している箇所には、防火水槽とポンプの整備を優先的に行い、当面の消防水利を確保する。 将来的には大型防火水槽を標高の高い位置に整備することを検討する。



中社地区での防火水槽の積雪対策



(参考) 積雪時でも吸水を容易にするサクシオンパイプの事例

[http://blogs.yahoo.co.jp/inakano\\_machihikeshi/30988798.html](http://blogs.yahoo.co.jp/inakano_machihikeshi/30988798.html)

防災対策事業の全体フレーム（防災計画）

項目	課題	対策	ハード	ソフト	継続	短期	中・長期	世帯	地域	行政	その他	
1 防災全般	1-(a) 防災に対する理解の促進	1-(a)-① 住民向け防災マニュアルの作成		●					○	◎	○	
		1-(a)-② 防災に関する勉強会の開催		●					◎	○	○	
	1-(b) 災害に強いコミュニティづくり	1-(b)-① まちづくり活動の活性化		●				○	◎			
	1-(c) 効果的な防災訓練の実施	1-(c)-① 発災型の防災訓練の定例実施		●				○	◎	○	○	
	1-(d) 観光客への対応	1-(d)-① 観光客の一時避難場所・避難所の検討		●					○	◎		
		1-(d)-② インバウンドも想定した避難誘導体制の検討		●					○	◎		
	1-(e) 早期復旧・復興への取り組み	1-(e)-① 応急復旧資材の確保		●					◎	○		
		1-(e)-② 修理用建材のストックヤード確保	●						◎	○		
		1-(e)-③ ヘリテージマネージャーや職人等との連携強化		●					◎	○	○	
		1-(e)-④ 修理履歴や図面の記録保存		●					○	◎		
		1-(e)-⑤ 古写真や史料の保管・記録		●					○	◎	○	○
1-(f) マンパワーの確保	1-(f)-① 移住希望者への支援		●					◎	○			
2 火災	2-(a) 出火予防	2-(a)-① 出火リスクの把握と低減、日常点検の徹底		●					◎			
		2-(a)-② 老朽化した電気配線・設備の更新	●					◎				
		2-(a)-③ 感震ブレーカーの設置	●						◎	○		
		2-(a)-④ 不審火・失火の警戒		●					◎	○		
	2-(b) 早期発見・早期通報	2-(b)-① 住宅用火災警報器の設置・管理の徹底		●					◎			
		2-(b)-② 自動火災報知設備の設置・管理の徹底、機能強化	●						◎	○		
		2-(b)-③ 炎センサーの設置	●						◎	○		
	2-(c) 初期消火・延焼防止	2-(c)-① 街頭消火器等の配備		●						◎	○	
		2-(c)-② 住民が扱いやすい消火設備の配備	●							◎	○	
		2-(c)-③ 延焼危険度が高い建物への消火設備の設置	●						○	◎	◎	
		2-(c)-④ 飛び火警戒の体制づくり		●						◎	○	
	2-(d) 施設での避難・誘導	2-(d)-① 冬季も考慮した避難経路の確保		●					◎			
		2-(d)-② 不特定多数が利用する施設での避難誘導計画等の作成	●						◎	○		
	2-(e) 消防活動	2-(e)-① 防火水槽の改修、更新	●							○	◎	
2-(e)-② 消火栓の改修、新設		●							○	◎		
2-(e)-③ 消防水利不足箇所への防火水槽等の整備		●							○	◎		
3 地震	3-(a) 建物の耐震対策	3-(a)-① 劣化・破損の日常点検と初期補修の実施		●					◎		○	
		3-(a)-② 適切な雪下ろしの実施		●					◎	○		
		3-(a)-③ 耐震診断の推進		●					◎	○	○	
		3-(a)-④ 構造補強指針の作成		●						◎	○	
		3-(a)-⑤ 建物の構造補強の推進	●						◎	○		
	3-(b) 工作物の耐震対策	3-(b)-① 石垣・石造物等の日常点検の実施		●					◎	○		
		3-(b)-② 石垣・石造物等の耐震対策の推進	●						◎	○	○	
3-(b)-③ 地震時の危険性についての注意喚起			●					◎	○	○		
4 雪害	4-(a) 建物の補強・改修	4-(a)-① 雪害頻発箇所の補強	●						◎	○		
		4-(a)-② 雪溜まり箇所の腐朽対策	●						◎	○		
	4-(b) 屋根積雪の抑制	4-(b)-① 適切な雪下ろしの実施（再掲）		●					◎	○		
		4-(b)-② 効率的な屋根融雪の調査研究		●						○	◎	○
4-(c) 排雪処理	4-(c)-① 適切な隣棟間隔の確保	●						◎				
	4-(c)-② 共同排雪場所の確保	●							◎	○		
5 その他災害	5-(a) 土砂災害対策	5-(a)-① 県の砂防事業等との連携	●						○	◎		
		5-(a)-② 避難計画の立案・事前避難等の徹底		●					◎	○	○	
		5-(a)-③ 伝統的建築物の移転等の位置の検討		●					◎	○		
	5-(b) 倒木・落枝対策	5-(b)-① 樹木の日常点検・管理の実施		●					◎	○		
		5-(b)-② 樹木医診断に基づく樹勢回復		●					◎		○	
		5-(b)-③ 危険木等の伐採	●						◎	○		
5-(b)-④ 無電柱化の推進		●							○	◎		